

平成 21 年 9 月 29 日

各位

『 F F G 調査月報 10 月号 』 発行について

経済調査誌『 F F G 調査月報 10 月号 』を発行いたしましたのでお知らせいたします。
今月のメインレポートは、寄稿「アジアの最新ビジネス環境」と地域経済調査「経営課題克服に向けた企業の動き（企業動向調査にみる）」の 2 本です。
なお、 F F G 調査月報は F F G 三行の営業店の窓口に配置しております。

【メインレポート】

寄稿 **アジアの最新ビジネス環境 ～ビジネススクール「リレー講義」から～** **九州大学大学院教授 丹羽 由一氏**

福岡銀行では、九州大学経済学研究院・ビジネススクールと連携して、昨年 10 月より「アジアのビジネスと金融」と題した特別講義を開講しています。この講義は、アジア各国のビジネスと金融情勢に関する最新動向をテーマ毎にレビューするもので、国際経済や国際金融の現場に日々接しておられる方々による「リレー講義」の形式で進めています。

今回は、九州大学大学院の丹羽教授による「アジアの最新ビジネス環境」の講義から、ポスト中国を担うインドビジネス、躍進するアジアマネー、金融危機後の中国経済などについてわかりやすく解説します。

地域経済調査 **経営課題克服に向けた企業の動き（企業動向調査にみる）**

福岡県、熊本県、長崎県の 3 県の企業を対象に実施した「企業動向調査アンケート」を基に、3 県企業の景況感の他、企業における経営課題やその対応策などについてレポートします。

業況の悪化傾向から底打ちに向かう期待が膨らむ中、3 県の企業では、経費削減に努めながら厳しい対応策を実施し、現状を乗り切ろうと取り組んでいます。

トップに聞く

F F G 3 行の代表者がお取引企業を訪問する「トップに聞く」(3行頭取の企業訪問)のコーナーです。

今月はお取引企業3社を訪問し、経営者の皆様から興味深いお話をいただきました。

大隈 晴明 氏 (株式会社 オークマ 代表取締役社長)

住宅用内装ドアを中心に障子、クローゼット、床材など住宅用木製部材の製造を手掛けている当社は、「お客様に商品と一緒に満足と感謝を買っていただく」ということを基本姿勢に、高品質、低価格、短納期の実現に向け努力を重ねています。5年前からは自社ブランド製品の開発にも注力しており、社会に「豊かさ」と「ゆとり」のある快適環境を提案し実現に努めています。

星山 一憲 氏 (株式会社 星山商店 取締役常務)

一貫してリサイクル事業への取組みをつづける当社は、地球環境保護に対する意識の高まりや鉄鉱石や原油に代表される資源価格高騰により、リサイクルの必要性が社会に定着し、急成長を遂げています。技術革新や新事業への取組みにも積極的で、「排水浄化」事業や「太陽光発電システム」導入など、環境関連企業として意識の高い挑戦を続けています。

早瀬 進 氏 (株式会社 早瀬鉄工所 代表取締役社長)

当社は、船舶艦装金物から各種プラント装置まで幅広い「モノづくり」を手掛けています。社運を賭けた「PIPE TOWER」の製造が見事に功を奏し、国際的な技術力をもつ企業として「世界に翔ばたく」の合言葉を見事に実現されています。

しーず君の研究室訪問

「九州大学大学院 芸術工学研究院 福祉人間工学研究室 村木 里志 准教授」

“身体が動く仕組み”と“人に優しいデザイン”を科学する

大学から生まれた研究成果(大学シーズ)を紹介するコーナーも、今月で8回目を迎えます。今回は福祉的な視点で、「人間工学」を考えている研究活動をご紹介します。ご高齢の方や、身体の不自由な方にとって使いやすいデザインは、「すべての人にやさしい」と言えます。実用化が待ち遠しい研究分野であり、企業の皆様との連携を期待します。

海外レポート

「香港への食品輸出とその販売戦略」

香港は、食料の大半を世界各国からの輸入に頼っています。輸入相手国としての日本の割合は高く、日本の食品のターゲットは日本人だけにとどまりません。本稿では、香港における日本の食品に対するイメージやマーケット事情を探りながら、香港への食品輸出とその販売戦略についてレポートします。

<<本件に関する問い合わせ先>>

株式会社 F F G ビジネスコンサルティング 企画調査部 (担当) 島浦、真田

電話：092-723-2576 FAX：092-761-8846